

・・・全校生徒が地域の方々とともに、消火訓練や救護訓練を行いました・・・

6月5日(金)に高田中学校において、全校生徒に加え、消防団や地域役員の方、消防署員が参加し、地域防災訓練が実施されました。

生徒は、起震車体験での関東大震災を再現した揺れに驚いた表情を見せつつ、運搬救護や三角巾などの訓練に真剣に取り組んでいました。



地域役員の方による訓練説明



消防団・地域役員の方による運搬救護見本



運搬救護を行う生徒たち



起震車を体験する福田校長



真剣な眼差しで訓練を実施



港北消防署長からの訓練講評

### 地域防災訓練に参加して感じたこと・思ったこと

高田中学校3年 荒金 彰

- ① 起震車での体験が最も強く心に残りました。関東大震災のときのゆれは予想以上に強く、実際にあれほどゆれば大きな被害がでるだろうと思い、防災への意識も高まりました。災害後の対応が重要だと感じました。被災で不機能になった環境や地域社会を、地域防災拠点でもう一度作り直すのは難しいと思います。しかし、なるべくみんなが快適に過ごせるようにみんなが協力し、弱い立場の人も守らなくてはなりません。
- ② 注意が必要と感じたのは火です。火は、生活になくってはならないものですが、決して甘くみていません。ストーブやガスを使う時には、熱と酸欠に注意が必要だと学びました。火の近くに物を放置してしまうと、こげていたということもよくあります。火に関係するものを扱うときには、細心の注意を払う必要があると思いました。

### 地域防災訓練に参加して感じたこと・思ったこと

高田中学校3年 森田 みき

今回の防災訓練を通して、私は改めて、訓練の大切さを知りました

今回の体験をするまで、震度7以上の地震を体験したことはなかったし、担架や消火器の使い方を知りませんでした。だからもし、今日までにそのような場面にそうぐうしていたとしたら、自分には何か、出来ることはあったのだろうかと思ってしまう。しかし、もう今日からは、いつもとは違い、自分にも出来ることがあります。それは、自分自身を守るためのものだけでなく、誰かを助けることができるので、もしも何か災害にあった時は、今回の訓練を活かして、地域のために動ける人でいたいと思います。

また、起震車では大きな揺れを体験したので、家具の配置や固定の強化等を家族と話し合うなど、自分が体験してきた内容や知識を発信していきたいです。